



Cisco DCNM のアップグレード

この章では、Cisco DCNM のアップグレードについて説明します。次の項を含みます。

- [インラインアップグレードを使用して ISO または OVA をアップグレードする \(1 ページ\)](#)

インラインアップグレードを使用して ISO または OVA をアップグレードする

既存の DCNM に新しい DCNM を提供することで、インラインアップグレードで DCNM をアップグレード可能になります。インラインアップグレード後、DCNM アプリケーションを起動する前にブラウザ キャッシュを消去するようにしてください。

Cisco DCNM をインストールするとき、デフォルトで自己署名付き証明書がインストールされています。ただし、最新の Cisco DCNM リリースにアップグレードした後は、証明書を復元する必要があります。



-
- (注) 証明書の復元は、破壊的なメカニズムです。アプリケーションを停止して再起動する必要があります。アップグレードされたシステムが安定している場合にのみ、証明書を復元します。つまり、Cisco DCNM Web UI にログインする必要があります。

アップグレード後に証明書を復元するには、[アップグレード後に証明書を復元する](#) を参照してください。

ここでは、インラインアップグレード方式を使用して DCNM をアップグレードする手順について説明します。



-
- (注) クラシック LAN 展開のアップグレードでは、DCNM リリース にアップグレードすると、展開は自動的に LAN ファブリック展開モードに変換されます。

スタンドアロン モードでの DCNM 仮想アプライアンスのインラインアップグレード

既存の DCNM に新しい DCNM を提供することで、インラインアップグレードで DCNM をアップグレード可能になります。インラインアップグレード後、DCNM アプリケーションを起動する前にブラウザ キャッシュを消去するようにしてください。

スタンドアロン モードで DCNM 仮想アプライアンスをアップグレードするには、次の作業を実行します。

Before you begin

Cisco DCNM セットアップがクラスタ モードの場合は、必ず Network Insights - Resources (NIR) 2.x アプリケーションを停止してください。Cisco DCNM Web UI で、[アプリケーション (Applications)] > [カタログ (Catalog)] を選択します。NIR アプリで、[停止 (Stop)] アイコンをクリックしてアプリケーションを停止します。カタログからアプリケーションを削除するには、[削除 (Delete)] をクリックします。

Procedure

Step 1 Cisco DCNM アプライアンス コンソールにログインします。

Caution システム要件が最小リソース要件を満たしていない場合、コンソールまたは SSH 経由で DCNM にログオンするたびに、**SYSTEM RESOURCE ERROR** が表示されます。コンソール/ SSH 経由で DCNM にシステム要件のログオンを変更します。

- OVA のインストールの場合：ホスト用に展開された OVF テンプレートで、右クリックして [設定 (Settings)] > [Web コンソールの起動 (Launch Web Console)] を選択します。
- ISO のインストールの場合：KVM コンソールまたは UCS (ベア メタル) コンソールを選択します。

Caution SSH セッションからインラインアップグレードを実行しないでください。セッションがタイムアウトし、アップグレードが不完全になることがあります。

または

次のコマンドを実行してスクリーンセッションを作成します。

```
dcnm# screen
```

これにより、コマンドを実行できるセッションが作成されます。このコマンドは、ウィンドウが表示されていない場合、または切断された場合でも実行し続けます。

Step 2 **appmgr backup** コマンドを使用してアプリケーション データのバックアップを取得します。

```
dcnm# appmgr backup
```

DCNM サーバの外部にある安全な場所にバックアップ ファイルをコピーします。

Step 3 **su** コマンドを使用して、/root/ ディレクトリにログオンします。

```
dcnm# su
Enter password: <<enter-password>>
```

Note ISO をディレクトリにマウントする前に、/root/ フォルダーにアクセスできることを確認します。

Step 4 **mkdir /mnt/iso** コマンドを使用して、**iso** という名前のフォルダを作成します。

```
dcnm# mkdir /mnt/iso
```

Step 5 **/mnt/iso/packaged-files/scripts/** に移動して **./inline-upgrade.sh** スクリプトを実行します。

```
dcnm# cd /mnt/iso/packaged-files/scripts/
dcnm# ./inline-upgrade.sh Do you want to continue and perform the inline upgrade to ? [y/n]:
y
```

Note Cisco DCNM リリース 11.2(1) からアップグレードする場合にのみ、新しい **sysadmin** パスワードを入力するように求められます。

Step 6 プロンプトで新しい **sysadmin** ユーザー パスワードを入力します。

Note Cisco DCNM リリース 11.2(1) からアップグレードする場合にのみ、新しい **sysadmin** パスワードを入力するように求められます。

```
Enter the password for the new sysadmin user: <<sysadmin_password>>
Enter it again for verification: <<sysadmin_password>>
```

アップグレードが完了すると、アプライアンスが再起動します。再起動後、SSH \root アクセスはデフォルトで無効になっています。 **sysadmin** ユーザーを使用します。

以前の Elasticsearch バージョンは、11.5(1) でサポートされている Elasticsearch バージョンと互換性がないため、リリース 11.5(1) にアップグレードした後で、Elasticsearch データのインデックスを再作成する必要があります。

次のメッセージが生成されます。

```
*****
WARNING: Elasticsearch indices for historical Performance Monitoring (PM)
data need to be reindexed manually.
Check DCNM installation and upgrade guide for more details.
*****
```

確認メッセージが表示されます。[y] を入力して、アップグレードを続行してください。

アップグレードの完了後に、システムがリブートします。

Step 7 **appmgr status all** コマンドを使用して、DCNM アプリケーションが機能していることを確認します。

```
dcnm# appmgr status all
```

Step 8 Cisco DCNM リリース 11.4(1) が正常にインストールされていることを確認するには、**appmgr show version** コマンドを使用します。

```
dcnm# appmgr show version
```

```
Cisco Data Center Network Manager
```

```
Version: 11.4(1)
Install mode: LAN Fabric
Standalone node. HA not enabled.
```

What to do next

適切なクレデンシャルを使用して DCNM Web UI にログインします。



Note リリース11.3(1)では、sysadmin と root ユーザーのパスワードは同一ではありません。にアップグレードすると、sysadmin および root ユーザーのパスワードは保持されます。

ただし、アップグレード後にCisco DCNMでバックアップと復元を実行すると、sysadmin ユーザーは root ユーザーからパスワードを継承するため、両方のユーザーが同じパスワードを持ちます。復元が完了したら、両方のユーザーのパスワードを変更できます。

[設定 (Settings)] アイコンをクリックし、[DCNM の詳細 (About DCNM)] を選択します。展開したインストールタイプを表示して確認できます。

古いPMデータはElasticsearchに保持されます。Elasticsearchは、Cisco DCNM Web UI、[ダッシュボード (Dashboard)]、[ヘルス (Health)] と [管理 (Administration)]、[DCNMサーバ (DCNM Server)]、[サーバステータス (Server Status)] の順に選択すると、再インデックスが必要と表示されます。

古い Performance Manager (PM) データを破棄し、DCNM リリース 11.4(1) へのアップグレードを続けるように選択できます。Performance Managerデータをドロップする方法については、を参照してください。

Performance Manager データを保存することを選択した場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けることを推奨します。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) にアップグレード後に Cisco Nexus 9000 スイッチを構成する Cisco DCNM リリース 11.3(1) またはリリース 11.4(1) 管理対象 VXLAN BGP EVPN ファブリックを正常にオンボードするには、「[VXLAN BGP EVPN、外部、および MSD ファブリックの DCNM 11.5 \(1\) アップグレード後](#)」を参照してください。

ネイティブ HA モードでの DCNM 仮想アプライアンスのインラインアップグレード

既存の DCNM に新しい DCNM を提供することで、インラインアップグレードで DCNM をアップグレード可能になります。インラインアップグレード後、DCNMアプリケーションを起動する前にブラウザ キャッシュを消去するようにしてください。

ネイティブ HA モードで DCNM 仮想アプライアンスをアップグレードするには、次の作業を実行します。

Before you begin

- Cisco DCNM 11.1(1)、Cisco DCNM 11.2(1) の両方または Cisco DCNM 11.3(1) Active と Standby ピアが起動して実行中であることを確認します。
- クラスタ モードで Cisco DCNM をアップグレードする前に、Network Insights - Resources (NIR) 2.x アプリケーションを停止します。Cisco DCNM Web UI で、[アプリケーション (Applications)] > [カタログ (Catalog)] を選択します。NIR アプリで、[停止 (Stop)] アイコンをクリックしてアプリケーションを停止します。カタログからアプリケーションを削除するには、[削除 (Delete)] をクリックします。



Note クラスタ モードでの Cisco DCNM のインラインアップグレードは、リリース 11.2(1) 以降でサポートされています。リリース 11.1(1) では、クラスタ モードの DCNM のインラインアップグレードはサポートされていません。

- **appmgr show ha-role** コマンドを使用して、アクティブ サーバとスタンバイ サーバが動作していることを確認します。

例:

アクティブ ノードで次の操作を実行します。

```
dcnm1# appmgr show ha-role
Native HA enabled.
Deployed role: Active
Current role: Active
```

スタンバイ ノードで次の操作を実行します。

```
dcnm2# appmgr show ha-role
Native HA enabled.
Deployed role: Standby
Current role: Standby
```

Procedure

Step 1 ファイルを解凍し、ファイルを /root/ フォルダに、アップグレードする DCNM セットアップの Active と Standby ノードの両方でアップロードします。

Note 例えば、アクティブおよびスタンバイ アプライアンスを **dcnm1** および **dcnm2** に個別に示します。

Step 2 Cisco DCNM アプライアンス コンソールにログインします。

Caution システム要件が最小リソース要件を満たしていない場合、コンソールまたは SSH 経由で DCNM にログオンするたびに、**SYSTEM RESOURCE ERROR** が表示されます。コンソール/SSH 経由で DCNM にシステム要件のログオンを変更します。

- OVA のインストールの場合: ホスト用に展開された OVF テンプレートで、右クリックして [設定 (Settings)] > [Web コンソールの起動 (Launch Web Console)] を選択します。
- ISO のインストールの場合: KVM コンソールまたは UCS (ベア メタル) コンソールを選択します。

Caution SSHセッションからインラインアップグレードを実行しないでください。セッションがタイムアウトし、アップグレードが不完全になることがあります。

または

次のコマンドを実行してスクリーンセッションを作成します。

```
dcnm1# screen
dcnm2# screen
```

これにより、コマンドを実行できるセッションが作成されます。このコマンドは、ウィンドウが表示されていない場合、または切断された場合でも実行し続けます。

Step 3 アクティブおよびスタンバイの両方のアプライアンスで **appmgr backup** コマンドを使用して、アプリケーションデータのバックアップを取得します。

```
dcnm1# appmgr backup
dcnm2# appmgr backup
```

DCNM サーバの外部にある安全な場所にバックアップ ファイルをコピーします。

Step 4 アクティブノードで、インラインアップグレードを実行します。

a) **mkdir /mnt/iso** コマンドを使用して、**iso** という名前のフォルダを作成します。

```
dcnm1# mkdir /mnt/iso
```

b) DCNM ISO ファイルを /mnt/iso フォルダで Active ノードにマウントします。

c) **/mnt/iso/packaged-files/scripts/** に移動し、**./inline-upgrade.sh** スクリプトを実行します。

```
dcnm1# cd /mnt/iso/packaged-files/scripts/
dcnm1# ./inline-upgrade.sh
```

Note 一部のサービスがまだ実行されている場合は、サービスが停止することを示すプロンプトが表示されます。プロンプトが表示されたら、**y** を押して続行します。

d) プロンプトで新しい **sysadmin** ユーザー パスワードを入力します。

Note Cisco DCNM リリース 11.1(1) またはリリース 11.2(1) からアップグレードする場合にのみ、新しい **sysadmin** パスワードを入力するように求められます。

```
Enter the password for the new sysadmin user: <<sysadmin_password>>
Enter it again for verification: <<sysadmin_password>>
```

アップグレードが完了すると、アプライアンスが再起動します。再起動後、SSH \root アクセスはデフォルトで無効になっています。**sysadmin** ユーザーを使用します。

以前の Elasticsearch バージョンは、11.5(1) でサポートされている Elasticsearch バージョンと互換性がないため、リリース 11.5(1) にアップグレードした後で、Elasticsearch データのインデックスを再作成する必要があります。

次のメッセージが生成されます。

```
*****
WARNING: Elasticsearch indices for historical Performance Monitoring (PM)
data need to be reindexed manually.
Check DCNM installation and upgrade guide for more details.
*****
```

確認メッセージが表示されます。[y] を入力して、アップグレードを続行してください。

アップグレードの完了後に、システムがリブートします。

- e) **appmgr status all** コマンドを使用して、DCNM アプリケーションが機能していることを確認します。

```
dcnm1# appmgr status all
```

Note スタンバイ ノードのアップグレードに進む前に、すべてのサービスが Cisco DCNM アクティブ ノードで稼働していることを確認します。

- f) **appmgr show ha-role** コマンドを使用して、アクティブ ノードのロールを確認します。現在のロールはアクティブとして表示される必要があります。

```
dcnm1# appmgr show ha-role
```

```
Native HA enabled.
Deployed role: Active
Current role: Active
```

Warning アクティブ ノードの現在のロールがアクティブでない限り、スタンバイ ノードのアップグレードを続行しないことをお勧めします。

Step 5 スタンバイ ノードで、インラインアップグレードを実行します。

- a) **mkdir /mnt/iso** コマンドを使用して、**iso** という名前のフォルダを作成します。

```
dcnm2# mkdir /mnt/iso
```

- b) DCNM ISO ファイルを /mnt/iso フォルダで Standby ノードでマウントします。

- c) /mnt/iso/packaged-files/scripts/ に移動し、./inline-upgrade.sh スクリプトを実行します。

```
dcnm2# cd /mnt/iso/packaged-files/scripts/
dcnm2# ./inline-upgrade.sh --standby
```

Note 一部のサービスがまだ実行されている場合は、サービスが停止することを示すプロンプトが表示されます。プロンプトが表示されたら、[y] を押して続行します。

- d) プロンプトで新しい sysadmin ユーザー パスワードを入力します。

Note Cisco DCNM リリース 11.1(1) またはリリース 11.2(1) からアップグレードする場合にのみ、新しい sysadmin パスワードを入力するように求められます。

```
Enter the password for the new sysadmin user: <<sysadmin_password>>
Enter it again for verification: <<sysadmin_password>>
```

アップグレードが完了すると、アプライアンスが再起動します。再起動後、SSH \root アクセスはデフォルトで無効になっています。sysadmin ユーザーを使用します。

アップグレードが完了すると、アプライアンスが再起動します。次のコマンドを使用して、アプライアンスのロールを確認します。

```
dcnm2# appmgr show ha-role
Native HA enabled.
Deployed role: Standby
Current role: Standby
```

What to do next

適切なクレデンシャルを使用して DCNM Web UI にログインします。



Note リリース 11.3(1) では、`sysadmin` と `root` ユーザーのパスワードは同一ではありません。にアップグレードすると、`sysadmin` および `root` ユーザーのパスワードは保持されます。

ただし、アップグレード後に Cisco DCNM でバックアップと復元を実行すると、`sysadmin` ユーザーは `root` ユーザーからパスワードを継承するため、両方のユーザーが同じパスワードを持ちます。復元が完了したら、両方のユーザーのパスワードを変更できます。

[設定 (Settings)] アイコンをクリックし、**[DCNM の詳細 (About DCNM)]** を選択します。展開したインストールタイプを表示して確認できます。

古い PM データは Elasticsearch に保持されます。Elasticsearch は、Cisco DCNM Web UI、**[ダッシュボード (Dashboard)]**、**[ヘルス (Health)]** と **[管理 (Administration)]**、**[DCNM サーバ (DCNM Server)]**、**[サーバステータス (Server Status)]** の順に選択すると、再インデックスが必要と表示されます。

古い Performance Manager (PM) データを破棄し、DCNM リリース 11.4(1) へのアップグレードを続行するように選択できます。Performance Manager データをドロップする方法については、を参照してください。

Performance Manager データを保存することを選択した場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けることを推奨します。

を使用して、両方のアプライアンスのロールを確認します。 **appmgr show ha-role**

```
dcnm1# appmgr show ha-role
Native HA enabled.
Deployed role: Active
Current role: Active
```

```
dcnm2# appmgr show ha-role
Native HA enabled.
Deployed role: Standby
Current role: Standby
```

appmgr status all コマンドを使用して、すべてのアプリケーションのステータスを確認します。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) にアップグレード後に Cisco Nexus 9000 スイッチを構成する Cisco DCNM リリース 11.3(1) またはリリース 11.4(1) 管理対象 VXLAN BGP EVPN ファブリックを正常にオンボードするには、「[VXLAN BGP EVPN、外部、および MSD ファブリックの DCNM 11.5 \(1\) アップグレード後](#)」を参照してください。

DCNM コンピューティングノードのインラインアップグレード

DCNM コンピューティングノードをインラインアップグレードを使用してアップグレードできます。インラインアップグレードでは、新しい DCNM バージョンを既存のコンピューティングノードに強制することによって、コンピューティングノードをアップグレードできます。



Note Cisco DCNM リリース 11.3(1) の Cisco アプリケーションサービスのコンピューティングノードをインラインアップグレード手順を使用してアップグレードできます。詳細については、『<https://www.cisco.com/c/en/us/support/data-center-analytics/nexus-dashboard/products-installation-guides-list.html>』を参照してください。

スタンドアロンとネイティブの両方の HA モードで DCNM コンピューティングノードをアップグレードするには、次の作業を実行します。

Before you begin

DCNM コンピューティングノードをアップグレードする前に、スタンドアロンノードまたはネイティブ HA モードのいずれかの Cisco DCNM サーバをリリースにアップグレードする必要があります。

Procedure

Step 1 Cisco DCNM コンピューティングコンソールにログオンします。

Caution SSHセッションからインラインアップグレードを実行しないでください。セッションがタイムアウトし、アップグレードが不完全になることがあります。

Caution システム要件が最小リソース要件を満たしていない場合、コンソールまたは SSH 経由で DCNM にログオンするたびに、**SYSTEM RESOURCE ERROR** が表示されます。コンソール/SSH 経由で DCNM にシステム要件のログオンを変更します。

または

次のコマンドを実行して、コンピューティングノードにスクリーンセッションを作成します。

```
dcnm-compute# screen
```

これにより、コマンドを実行できるセッションが作成されます。このコマンドは、ウィンドウが表示されない場合や切断された場合でも実行され続けます。

Step 2 すべてのコンピューティングで `mkdir /mnt/iso` コマンドを使用して、`iso` という名前のフォルダを作成します。

```
dcnm-compute# mkdir /mnt/iso
```

Step 3 DCNM ISO ファイルを `/mnt/iso` フォルダのコンピューティングノードでフォルダにマウントします。

すべてのコンピューティングノードに ISO をマウントします。

Step 4 /mnt/iso/packaged-files/scripts に移動して `./inline-upgrade.sh` スクリプトを実行します。

Note 一部のサービスがまだ実行されている場合は、サービスを停止するように促すプロンプトが表示されます。プロンプトが表示されたら、**y** を押して続行します。

Note Cisco DCNM リリース 11.1(1) またはリリース 11.2(1) からアップグレードする場合にのみ、新しい `sysadmin` パスワードを入力するように求められます。

Step 5 プロンプトで新しい `sysadmin` ユーザー パスワードを入力します。

```
Enter the password for the new sysadmin user:<<sysadmin_password>>
Enter it again for verification:<<sysadmin_password>>
```

アップグレードが完了すると、コンピューティング ノードが再起動します。再起動後、SSH \root アクセスはデフォルトで無効になっています。 `sysadmin` ユーザーを使用します。

Step 6 `appmgr show version` コマンドを使用して、Cisco DCNM リリース へのアップグレードが正常に行われたことを確認します。

```
dcnm-compute# appmgr show version

Cisco Data Center Network Manager
Version:
Install mode: Compute
```

What to do next

クラスタ内の 3 つのコンピューティング ノードすべてをアップグレードする必要があります。

アップグレードプロセスが完了すると、各コンピューティング ノードが再起動し、自動的にクラスタに参加します。Cisco DCNM Web UI で、[アプリケーション (Applications)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択して、コンピューティング ノードが [結合済み (Joined)] として表示されるかどうかを確認します。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) にアップグレード後に Cisco Nexus 9000 スイッチを構成する Cisco DCNM リリース 11.3(1) またはリリース 11.4(1) 管理対象 VXLAN BGP EVPN ファブリックを正常にオンボードするには、「[VXLAN BGP EVPN、外部、および MSD ファブリックの DCNM 11.5 \(1\) アップグレード後](#)」を参照してください。